社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金

平成29年03月17日

計画の名称	岡山県における安全で快適に生活できる港湾海岸づくりの推進（防災・安全）		
計画の期間	平成２７年度　～　平成３１年度　(5年間)	重点配分対象の該当	
交付対象	岡山県		
計画の目標	平成16年に既往最高潮位を記録した台風16号や23号などにより浸水被害が発生した海岸において、高潮対策事業及び老朽化対策緊急事業を実施し、高潮・津波から県民の安全安心を確保する。 今後発生が予想される南海トラフ巨大地震における浸水想定と被害想定を踏まえ改訂した岡山県沿岸海岸保全基本計画に基づき、耐震性能調査、老朽化調査を実施し対策が必要な海岸を抽出する。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	3,885	A	3,885	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H27当初）	（H29末）	（H31末）
1	岡山県の港湾海岸における高潮対策や老朽化対策により、H16年と同規模の高潮が発生した場合における浸水家屋解消			
	東備港海岸において、H16年と同規模の高潮が発生した場合に浸水の危険性がある家屋数	864戸	611戸	0戸
2				
	岡山港海岸において、H16年と同規模の高潮が発生した場合に浸水の危険性がある家屋数	37戸	0戸	0戸
3				
	水島港海岸において、H16年と同規模の高潮が発生した場合に浸水の危険性がある家屋数	366戸	366戸	0戸
4				
	笠岡港海岸において、H16年と同規模の高潮が発生した場合に浸水の危険性がある家屋数	10戸	10戸	0戸
5				
	北木島港海岸において、H16年と同規模の高潮が発生した場合に浸水の危険性がある家屋数	18戸	8戸	0戸
6				
	牛窓港海岸において、H16年と同規模の高潮が発生した場合に浸水の危険性がある家屋数	817戸	817戸	0戸

案件番号：　0000004067

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H27当初）	（H29末）	（H31末）
7				
	児島港海岸において、H16年と同規模の高潮が発生した場合に浸水の危険性がある家屋数	340戸	0戸	0戸

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－
岡山県国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：1-A-1, 1-A-2, 1-A-4, 1-A-6, 1-A-7, 1-A-8, 1-A-9, 1-A-10全て								

案件番号：　0000004067

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
海岸事業	A09-001	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	高潮	港湾	東備港海岸高潮対策事業	護岸改良560m等	備前市	■	■	■	■	■	965	116.0	－
	A09-002	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	高潮	港湾	牛窓港海岸高潮対策事業	護岸改良520m等	瀬戸内市	■	■	■	■	■	755	121.5	－
	A09-003	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	高潮	港湾	児島港海岸高潮対策事業	離岸堤430m	倉敷市	■	■	■			506	41.1	－
	A09-004	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	高潮	港湾	笠岡港海岸高潮対策事業	胸壁500m等	笠岡市	■	■	■	■	■	320	6.1	－
	A09-005	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	老朽化	港湾	岡山港海岸老朽化対策緊急事業	護岸改良270m	岡山市	■	■				140		未策定
	A09-006	海岸	離島	岡山県	直接	岡山県	老朽化	港湾	北木島港海岸老朽化対策緊急事業	護岸改良510m等	笠岡市	■	■	■	■	■	526		未策定
	A09-007	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	老朽化	港湾	水島港海岸老朽化対策緊急事業	護岸改良800m等	倉敷市		■	■	■	■	600		未策定

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
海岸事業	A09-008	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	耐震	港湾	岡山県港湾海岸耐震対策緊急事業	耐震性能調査	岡山県沿岸	■	■	■	■		50		―
	A09-009	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	老朽化	港湾	岡山県港湾海岸老朽化対策緊急事業	長寿命化計画策定	岡山県沿岸	■	■				23		―
											小計						3,885		
											合計						3,885		

案件番号： 0000004067

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	293	156	90		
計画別流用 増△減額 (b)	0	△ 10	0		
交付額 (c=a+b)	293	146	90		
前年度からの繰越額 (d)	92	68	24		
支払済額 (e)	318	190			
翌年度繰越額 (f)	67	24			
うち未契約繰越額 (g)	36	9			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	9%	4%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由					

社会資本整備総合交付金チェックシート
（海岸事業タイプ）

計画の名称：岡山県における安全で快適に生活できる港湾海岸づくりの推進（防災・安全）　都道府県名：岡山県

	チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 （計画の目標が海岸保全基本計画や地域防災計画等の上位計画と整合している。）	○
②地域の課題への対応	
○計画の目標が過去の災害や切迫する災害に伴う被害の防止・軽減、環境整備といった地域の課題に適切に対応するものとなっている。	○
Ⅱ．計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性等	
○事業内容は、計画の目標を達成する有効な手段となっている。	○
④事業の効果	
1）事業規模、施設諸元が適切であり事業実施により十分な効果が発揮される。	○
2）隣接する海岸と整合した整備が行われている（又は整備予定）。	○
Ⅲ．計画の実現可能性	
②円滑な事業執行の環境	
1）住民等の合意形成が整っている。	○
2）事業計画のスケジュールは妥当なものとなっている。	○
①地元の機運	
1）海岸事業の実施に向けた機運が高い。	○
2）ハード整備とあわせてハザードマップの作成、防災訓練などソフト施策を実施（又は実施予定）。	○